



「お節会」は連日、午前10時に開場。来場した信者たちは、変わらぬ「伝統の味」に舌鼓を打った

「鏡開き」では、専用の餅切り機を使って大小の鏡餅を食べやすい大きさに切り分けた

新春の伝統行事に4万9000人 天理教会本部「お節会」

「新春の風物詩」である天理教会本部（奈良県天理市）の「お節会」が、1月5日から7日まで開かれた。

教祖が現身をもってお働きくださっていた時代から続くこの伝統行事は、正月三が日、本部神殿にお供えされた鏡餅を、1月4日の「鏡開き」でほどよい大きさに切り分け、すまし汁仕立ての雑煮にし

て振る舞うもの。

3日間で4万9246人が来訪。昨年より1万7000人多い来訪に、神苑一帯は大いににぎわった。期間中は、全国から集まった信者や親里で学ぶ学生ら約4500人が真心を込めて、会場準備や接待、誘導などの世話取りに当たった。

